

# 令和6年度入学者選抜試験

## 前期日程問題

### 実 技 (120分)

(建築学科)

#### 注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は6ページあります。
- 3 解答用紙は3枚あります（その1～その3）。解答用紙には受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
- 4 解答用紙は切り離してはいけません。誤って切り離してしまった場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 6 解答は、全て解答用紙の指定されたところに書きなさい。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。



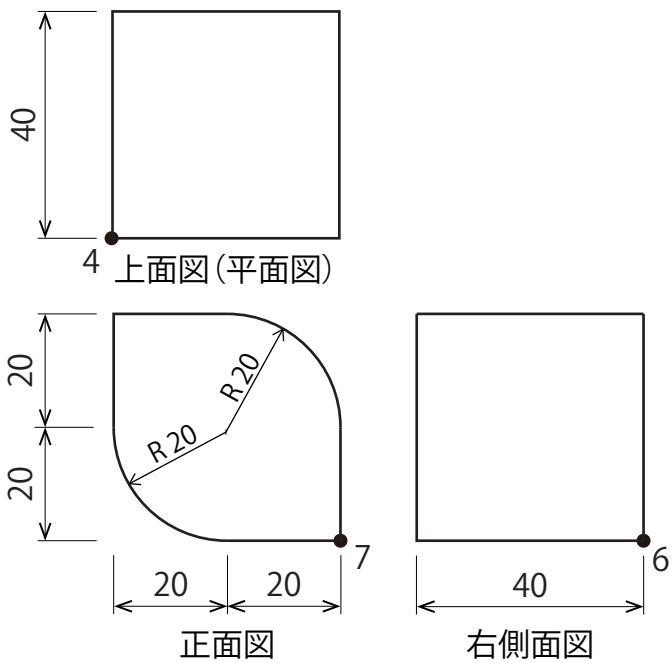


図2 立体Aの三面図 (単位は cm)  
(R 20 は半径 20 cm の円弧を示す)

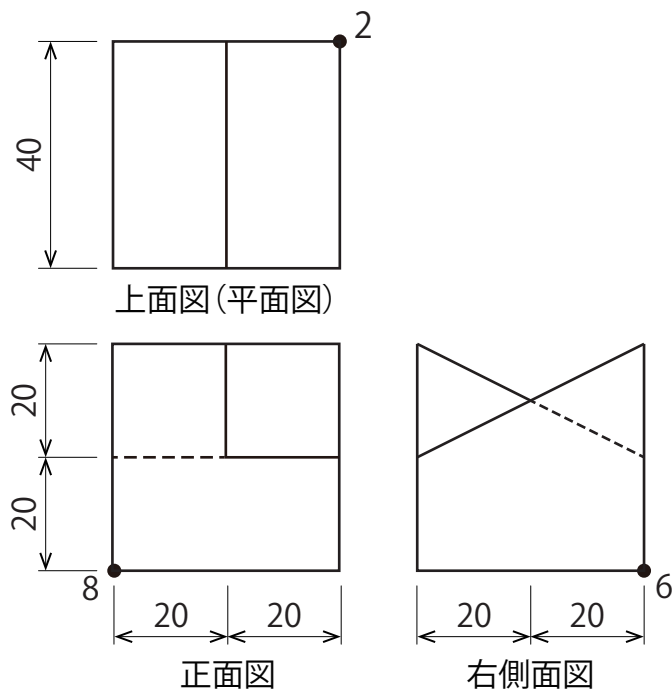


図3 立体Bの三面図 (単位は cm)  
(破線はかくれ線を示す)

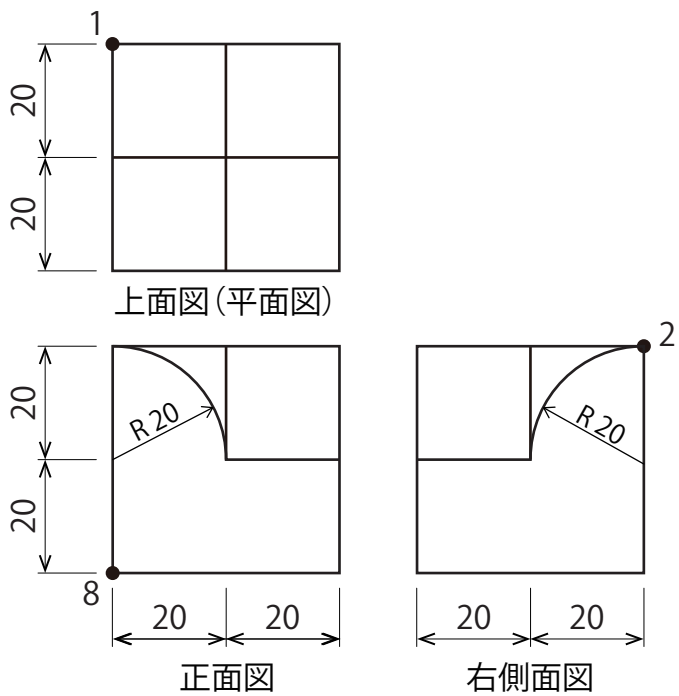


図4 立体Cの三面図 (単位は cm)  
(R 20 は半径 20 cm の円弧を示す)

**問題 2** (配点 60 点)

図 1～4 は異なる立体の展開図であり，実線は切り取り線を，破線は谷折り線を示す。●は各図を組み立ててできる立体の頂点のうちの 2カ所を示し，点 1，2 はその頂点の番号である。数値の単位は cm である。

注 1) 鉛筆・紙等を定規や物差し代わりに使用してはならない。

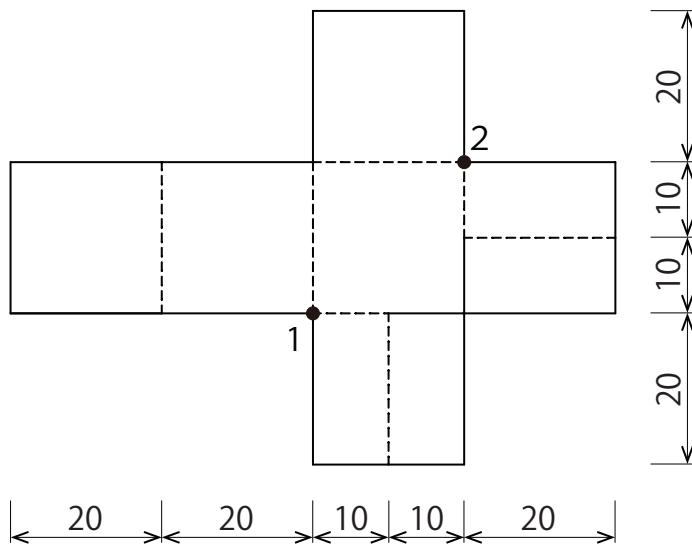
注 2) 解答はフリーハンドで描くこと。

注 3) 図形は線で描くこととし，陰影や材質の表現はしないこと。

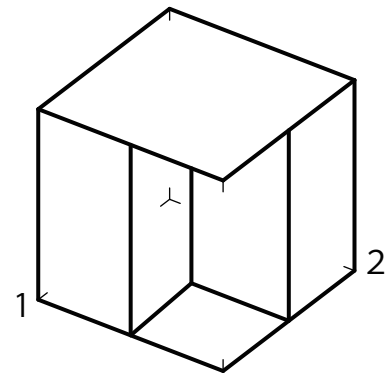
注 4) かくれ線 (視点の向こう側で本来は見えない稜線<sup>りょうせん</sup>) は描かないこと。

(問) 各図を組み立ててできる立体の輪郭線および稜線<sup>りんかくせん</sup>を，解答用紙のガイドライン (頂点 1，2 の位置を示す) を目印として描きなさい。

(参考) 問題例と解答例を示す。



問題例 (単位は cm)



解答例

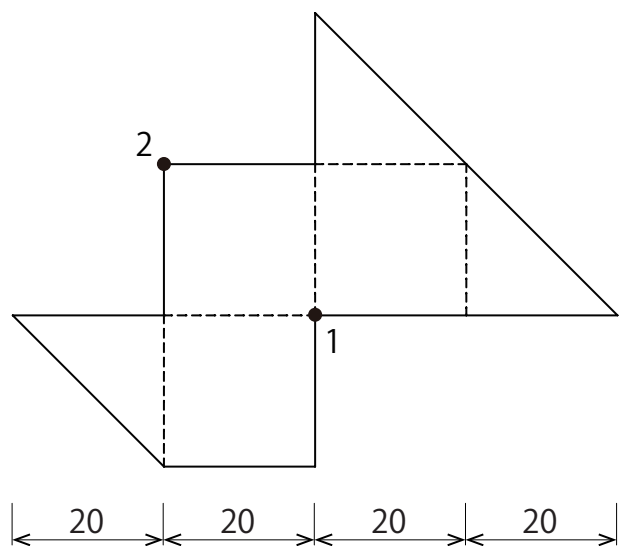


図1 (単位は cm)

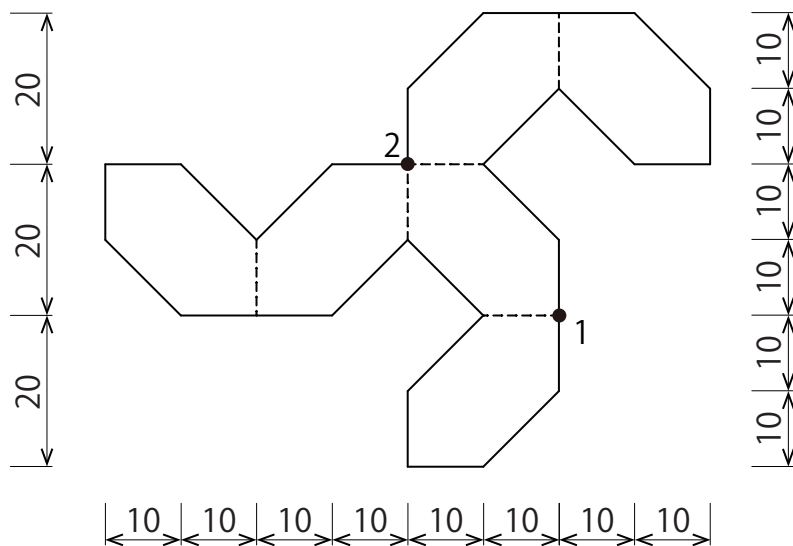


図2 (単位は cm)

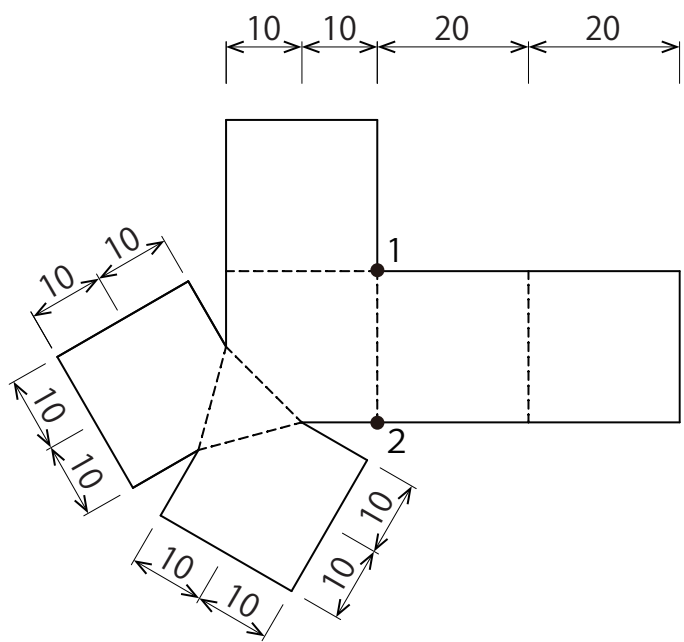


図3 (単位は cm)

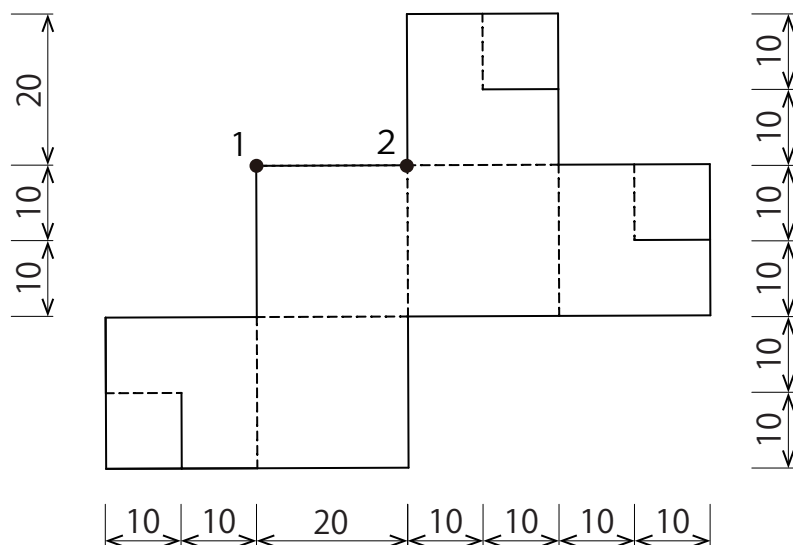


図4 (単位は cm)

問題3 (配点 65 点)

以下の各問に答えなさい。

注1) 鉛筆・紙等を定規や物差し代わりに使用してはならない。

注2) 解答はフリーハンドで描くこと。

注3) 文字は塗りつぶさないこと。

(問1) 図1の文字を位置関係や形と大きさをそのままにして、解答用紙に描きなさい。

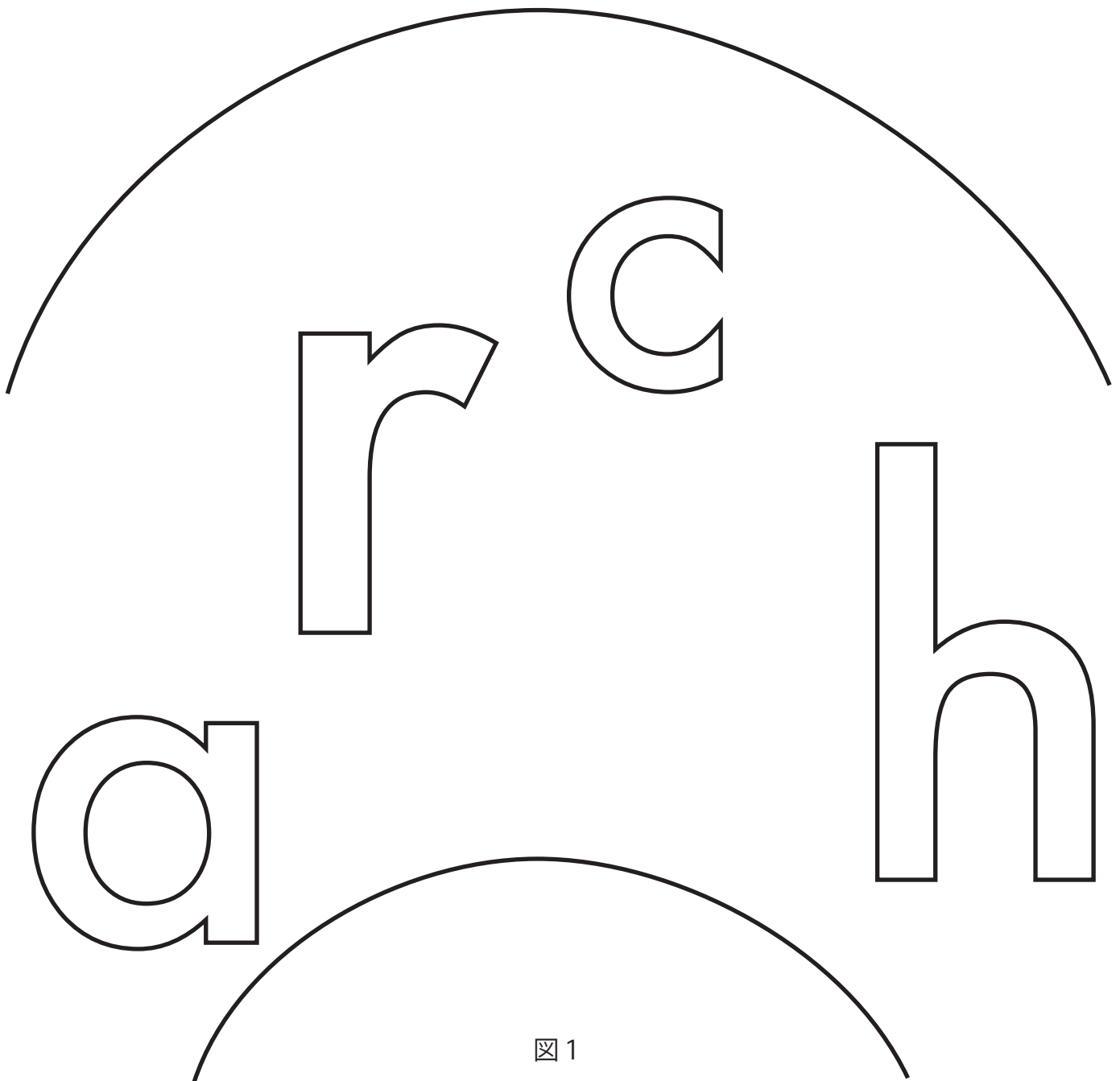


図1

(問2) a から z まで順に 1 から 26 までの数を与えて,  $a=1, b=2, \dots, z=26$  とする。図 2 の文字列をもとに, 「ア」から「ウ」の操作を順に行う。「ウ」の操作後にできる文字列を解答用紙に描きなさい。ただし文字の形や大きさは変えないこと。

- ア. 図 2 の文字列のうちで, 与えられた数が 6 で割ったときに余りが 2 となる文字と 6 で割ったときに余りが 3 となる文字の位置を入れ替える。
- イ. 「ア」の操作後にできる文字列のうちで, 2 つの文字を選び取って足し合わせた数と, 文字列にある別の文字に与えられた数が等しくなる場合に, 最初に選び取った 2 つの文字同士の位置を入れ替える。
- ウ. 「イ」の操作後にできる文字列のうちで, 3 の倍数が与えられた文字と, 素数が与えられた文字の位置を入れ替える。

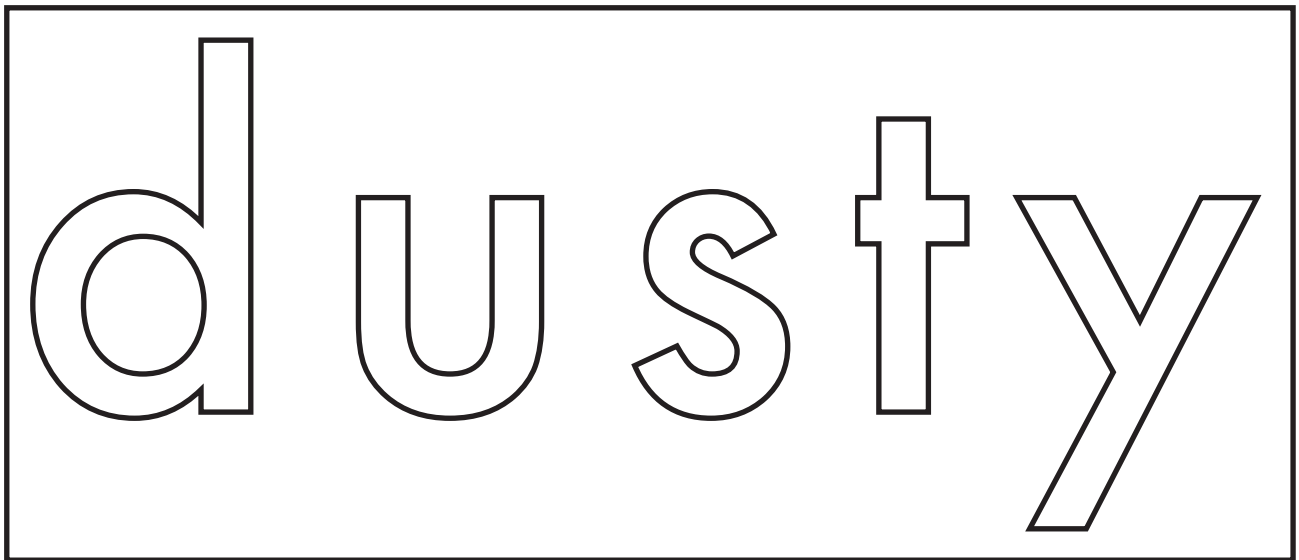


図 2